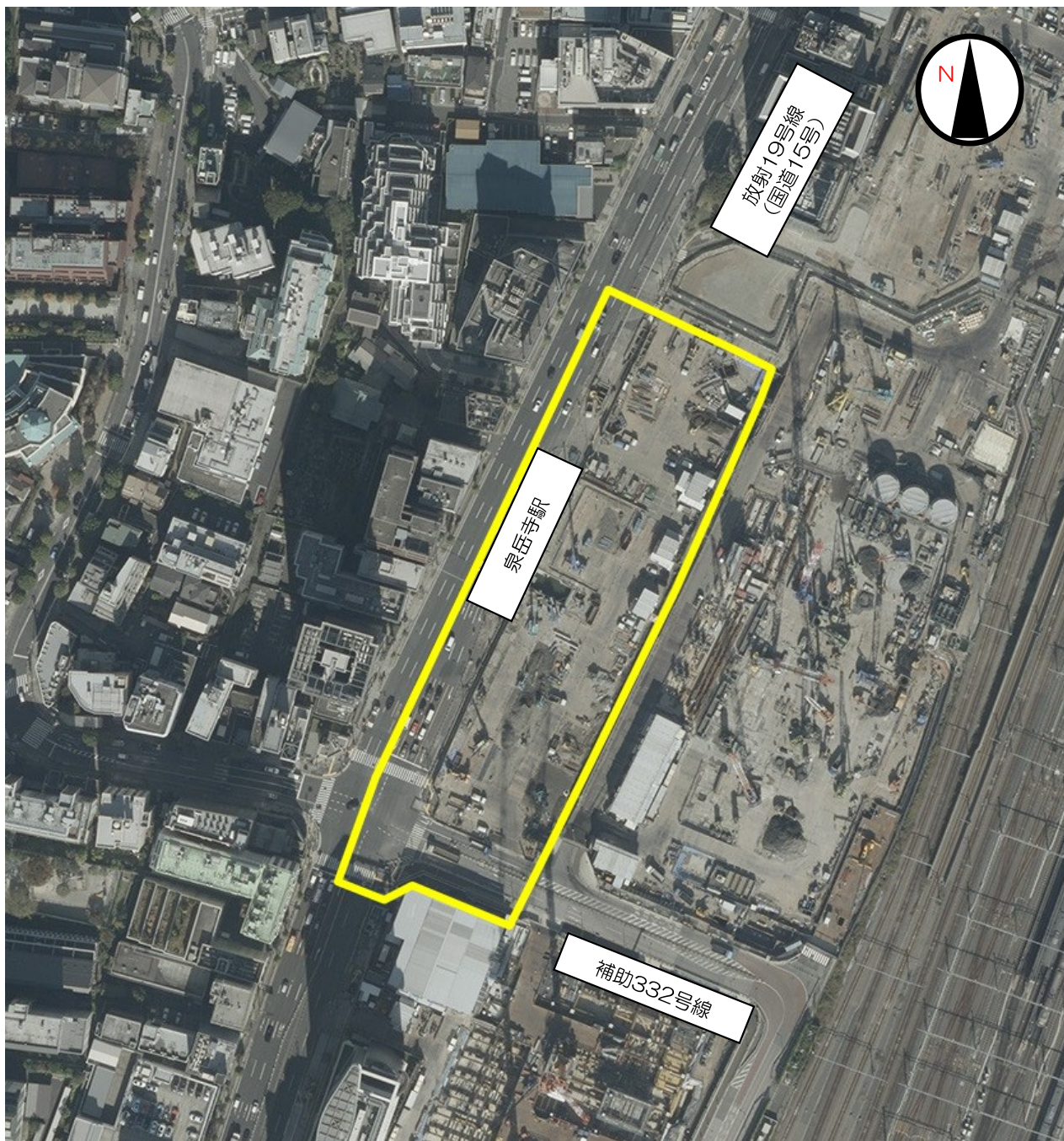
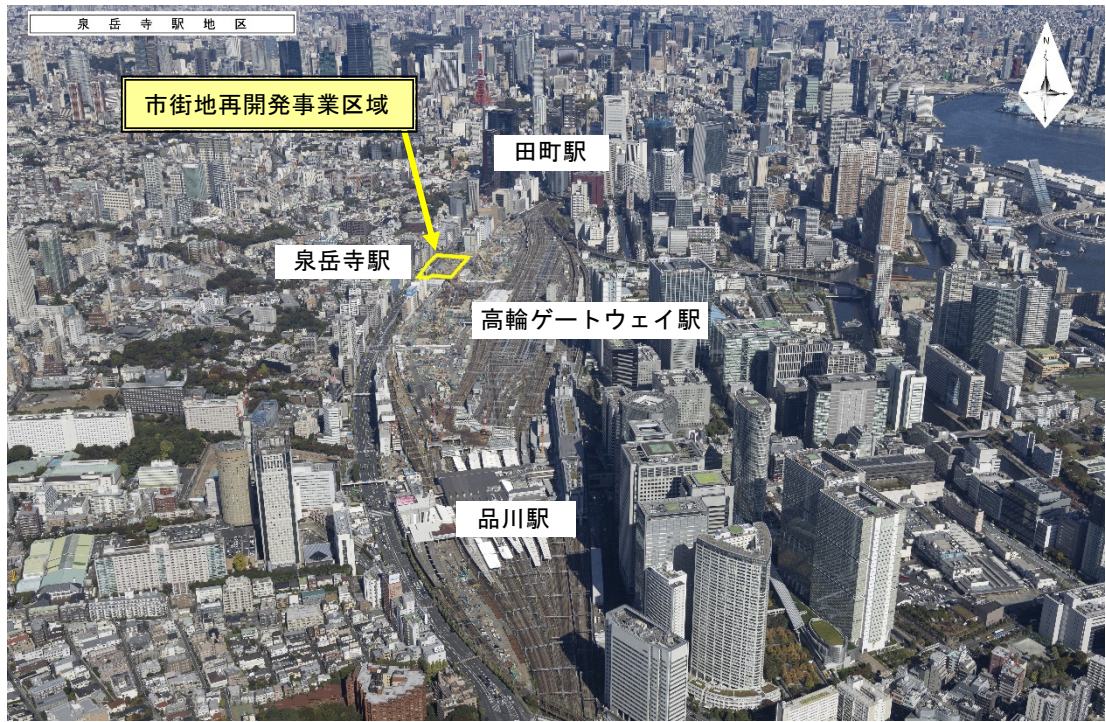


Ⅲ 市街地再開発事業

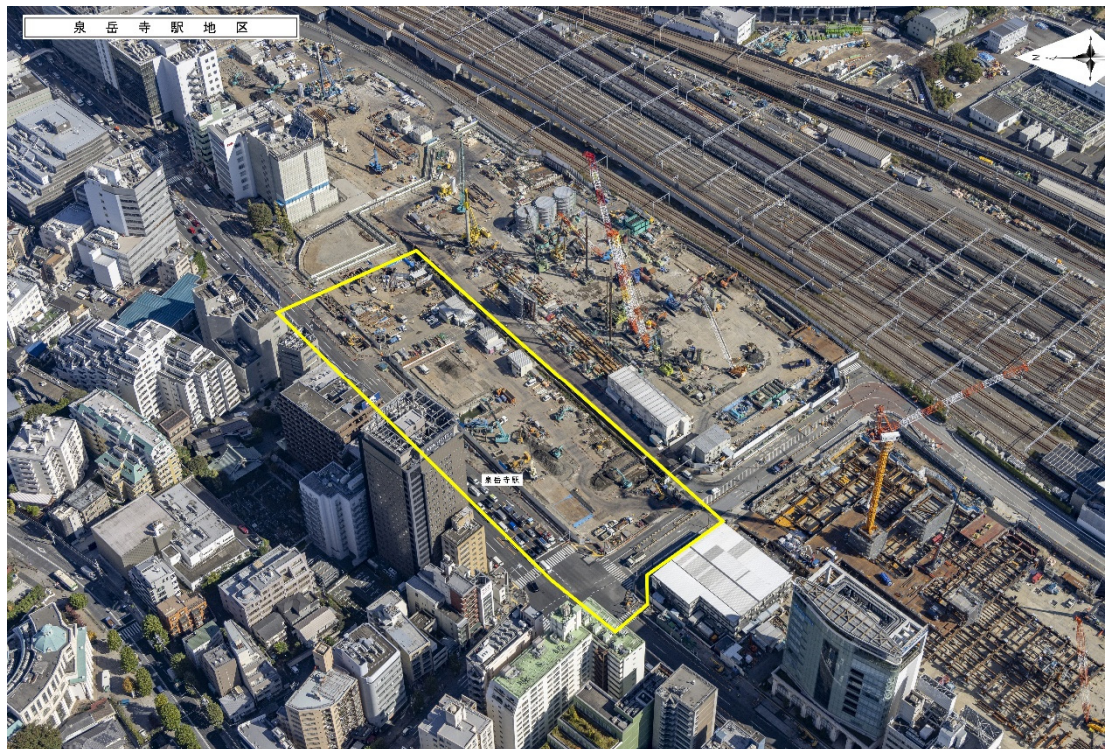
泉岳寺駅地区



令和4年11月撮影



令和4年11月撮影



令和4年11月撮影

泉岳寺駅地区

(1) 事業の概要

ア 事業の名称	東京都市計画事業泉岳寺駅地区第二種市街地再開発事業
イ 施行者	東京都
ウ 施行地区	港区高輪二丁目の一部
エ 施行面積	約1.3ha
オ 施行期間	平成31年2月～令和9年度（完了公告予定）
カ 権利者数	75名（土地所有者5, 土地建物所有者58, 借地建物所有者1, 借家人11） ※ 令和5年3月31日現在（重複する権利者と官公庁を除く。）
キ 整備される主な公共施設	
(ア) 都市計画道路	補助線街路第332号線（幅員22m、延長約40m）
(イ) 地下駅前広場	広場1号、広場2号
(ウ) 区画道路	地区幹線道路（第二東西連絡道路） （幅員4m、全幅20m、延長約40m）

(2) 事業の目的

泉岳寺駅は、羽田空港にアクセスする京浜急行本線と、都心部や成田空港にアクセスする都営浅草線との接続駅として、広域的な結節機能を担っており、空港需要の増大に伴い、その重要性は高まっている。

また、周辺ではリニア中央新幹線の開業が予定されるなど、世界と日本各地を繋ぐ結節点としての役割が期待されており、日本の成長を牽引する国際交流拠点として、JR東日本品川車両基地跡地などを中心とした開発が進められている。こうした泉岳寺駅地区周辺の開発に伴い、泉岳寺駅では利用者の増加が見込まれることから、駅機能の強化が不可欠となっている。

併せて、JR東日本山手線・京浜東北線、品川・田町間において、新駅（高輪ゲートウェイ駅）を開業することから、駅と幹線街路放射第19号線（国道15号）とを結ぶ、補助線街路第332号線の整備が必要となる。

上記のとおり、泉岳寺駅地区は、国際交流拠点としての一翼を担う地区であり、広域的・根幹的な都市施設である鉄道施設の整備とともに、新駅（高輪ゲートウェイ駅）までのアクセス道路として重要な役割を担う幹線道路などの都市基盤整備とを一体的に進めることを目的として、第二種市街地再開発事業を施行するものである。

(3) 事業の経緯

平成29年11月	都市計画決定	（平成29年11月30日（港区決定））
平成31年2月	事業計画決定	（平成31年2月20日（東京都告示第176号））
令和2年1月	管理処分計画決定	（令和2年1月14日）
3月	補助線街路第332号線(港区道)供用開始	（令和2年3月12日）
令和2年8月	管理処分計画変更(第1回)	（令和2年8月19日）

令和2年11月 事業計画変更(第1回) (令和2年11月27日)
 令和3年6月 特定建築者決定
 令和4年9月 事業計画変更(第2回) (令和4年9月16日)
 令和5年2月 管理処分計画変更(第2回) (令和5年2月20日)

●土地利用の現況

区 分		面積(m ²)		構成比(%)	
公共用地	道路	国道	約 3,530	約 3,750	26
		区道	約 220		2
宅 地	公有地		約 3,440	約 9,490	26
	私有地		約 6,050		46
合 計			約 13,240		100

●公共施設の概要

区 分	名 称	形状寸法			構 造	備 考	
		幅員(m)	延長(m)	面積(m ²)			
道 路	幹線道路	幹線街路放射第19号線	16.5 (全幅 33)	約 220	約 3,520	アスファルトコンクリート 舗装等	整備済み
		補助線街路第332号線	22	約 40	約 1,040	アスファルトコンクリート 舗装等	新 設
	区画道路	地区幹線道路	4 (全幅 20)	約 40	約 180	アスファルトコンクリート 舗装等	新 設
合 計					約 4,740		

●施設建築物の設計の概要

構 造	階 数	高さ(m)	敷地面積(m ²)	建築面積(m ²)	延べ面積 [容積対象面積] (m ²)	建蔽率(%)	容積率(%)
鉄骨造、 鉄筋コンクリート造、 鉄骨鉄筋コンクリート造	地上30階 地下3階	約 145	約 8,490	約 5,400	約112,300 [約 84,900]	約 65	約 1,000

(4) 事業の現況

平成31年2月に事業計画を決定し、その後、再開発ビルに入居することの意思表示となる譲受け希望(入居希望)の申出の受け付けを行った。

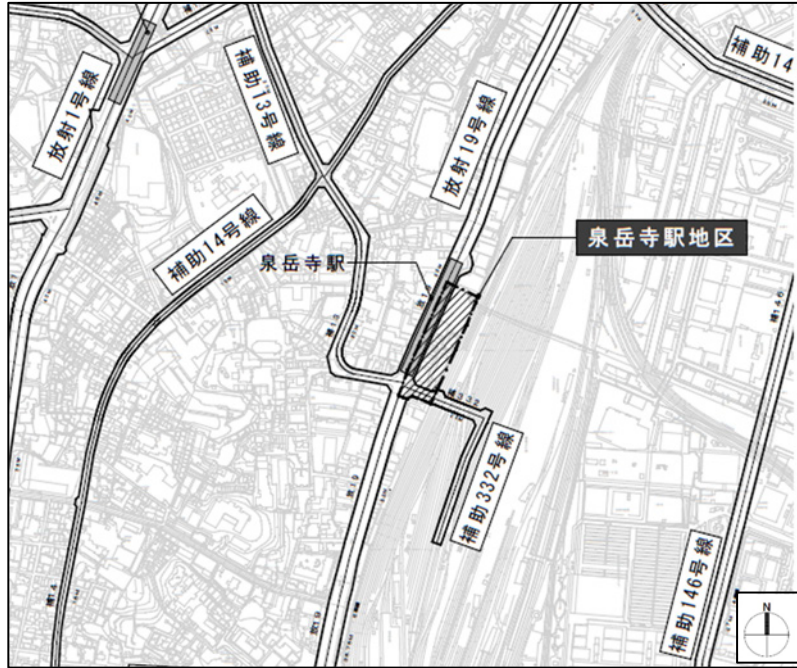
令和元年7月には、権利床の位置の希望を受け付け、令和2年1月に管理処分計画を決定した。

令和2年3月には、高輪ゲートウェイ駅の開業に合わせ、補助線街路第332号線(港区道)の道路開放(供用開始)をした。

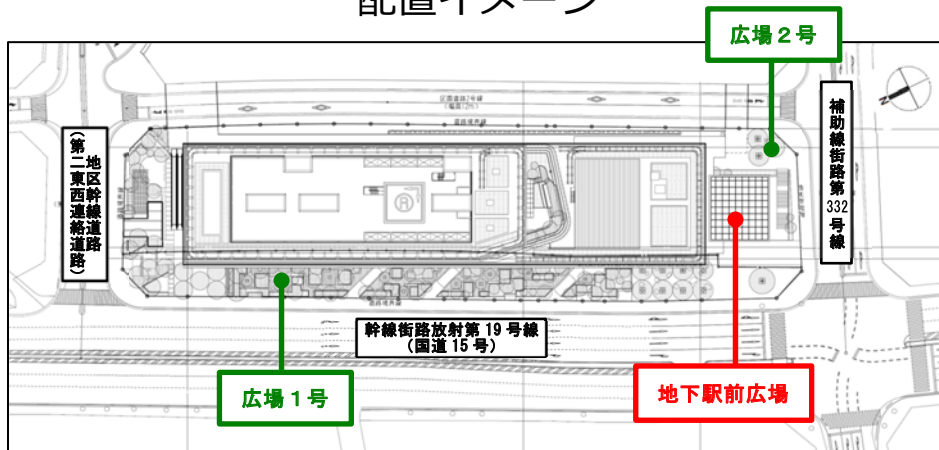
(5) 令和5年度の予定

- ・埋蔵文化財調査の実施(明治時代の護岸、江戸時代の護岸、水路石垣等)
- ・特定建築者による敷地整備工事

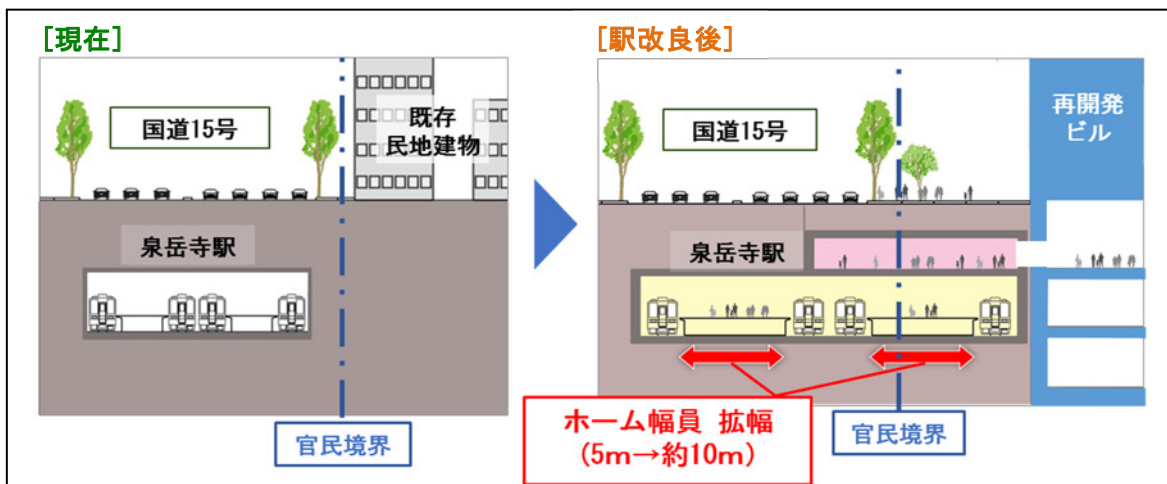
位置図



配置イメージ



駅とまちの一体的な整備のイメージ



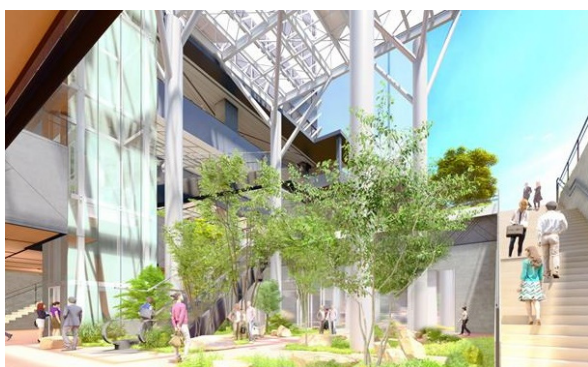
再開発ビルのイメージ（特定建築者提案による）



▲建物外観（南西側）



▲建物外観（北西側）



▲地下駅前広場



▲建物外観（地下駅前広場）

※上記はイメージパースであり、実際とは異なります。また、今後変更となる場合があります。